ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2022-23 年度　**大宮西ロータリークラブ　週報**

創　立：1963年３月22日　　会　長　小沢　孝
例会場：パレスホテル大宮　　幹　事　榎本 貞寿
例会日：月曜日 12:30～13:30　クラブ会報委員会　小岩 淳一

第2760例会　2023/01/11
発行日　2023/01/23

第４グループ IM 合同新年会

ご挨拶　　国際ロータリー第 2770 地区 第４グループガバナー補佐 **内山 泰成 様**

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
第４グループ ６クラブの会員の皆様と一同に会し、合同新年会を開催できますこと、心より感謝申し上げます。また本日はご多用中にも関わらず、さいたま市長 清水勇人様、さいたま市教育長 細田眞由美様、生涯学習部長 山浦麻紀様、そして国際ロータリー2770 地区ガバナー、細淵雅邦様にご臨席を賜り、錦上花を添えていただき誠にありがとうございます。
昨年は、細淵ガバナーの方針のもと、IM をグループ事業として実施いたしました。第４グループでは秋葉の森総合公園において、生態系保護の観点から環境をテーマとした事業を行いました。さいたま市、さいたま市教育委員会、生態系保護協会、青少年育成会を始め、多くの皆様のご支援のもと、総勢で 300 名近い皆様と楽しく、インパクトのある奉仕事業を実施することができました。約３年間のコロナ禍において、私たちは思うように親睦活動や奉仕事業をすることができないでおりました。このような中で今回の合同奉仕事業はクラブ活性化に向けて大きな意味があったと思います。またクラブの垣根を超え、この第４グループが一致団結することが出来たと確信しております。
さて本日より、下半期のスタートとなります。この合同新年会を通して、交流の輪をさらに広げ、親睦を深め、そして奉仕に対するアイディアを共有することにより、各クラブの更なる活性化に繋がればと考えております。
本年も皆様と共に DEI を推進し、余すところなくロータリーを楽しみ、爽やかな風が流れる元気なクラブづくりに貢献できればと存じます。最後になりましたが、第４グループの会長幹事様をはじめ会員各位の益々のご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

会長挨拶　　会長 **小沢 孝**

明けましておめでとうございます。今年度当クラブは創立 60 周年を迎えます。これもひとえに、皆様のご理解、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。
１年間を通して環境問題を柱にプログラムを立てさせていただきました。時には環境の奉仕活動を主題に、時には教育の奉仕を環境に関連付けて、また、職業奉仕では年間６回の例会を企画し会員に研修を含めた形で例会を楽しんでもらえるよう考えました。特色あるプログラムで 60 周年のこの年を活動してきました。残り半年ですが、70 周年に向けて良いバトンタッチが出来るよう活動してまいります。結びに、各クラブの今後ますますの発展と、皆様のご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

60 周年 新たな奉仕活動へ ～すべては好奇心から始めよう～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2　YK-12ビル　４階
TEL 048-871-8881　　FAX 048-871-8882
E-mail：west@rc-omiya-west.com　　HP：http://rc-omiya-west.com/

受付

点鐘

ガバナー補佐 **内山 泰成 様**

第一部 セレモニー

司会
IM 実行委員 **楯 基之 様**

ロータリーの目的・
4つのテスト唱和

IM 実行委員
藤嶋 剛史 様

国歌斉唱・ロータリーソング斉唱

ご来賓ご挨拶

さいたま市教育委員会
教育長
細田 眞由美 様

米山記念奨学生紹介

ガバナーご挨拶

国際ロータリー第 2770 地区
ガバナー **細淵 雅邦 様**

各クラブ会長・幹事紹介並びに会長挨拶

岩槻ロータリークラブ
会長 **鈴木 真樹 様**

大宮北ロータリークラブ
会長 **金 福漢 様**

大宮東ロータリークラブ
会長 **横田 勝美 様**

岩槻東ロータリークラブ
会長 **加藤 哲男 様**

大宮北東ロータリークラブ
会長 **遊馬 久治 様**

大宮西ロータリークラブ
会長 **小沢 孝**
幹事 **榎本 貞寿**

第二部 懇親会

開宴のご挨拶
ガバナー補佐
内山 泰成 様

司会
IM 実行委員 **小林 政良 様**

奨学金授与
米山記念奨学生
グェンティガンさん

ご来賓ご挨拶

さいたま市　市長
清水　勇人　様

第４Ｇの内山　泰成　ガバナー補佐をはじめ、各ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃から地域において熱心な奉仕活動を続けていただいていることに、厚く御礼申し上げます。

本年は、さいたま市が政令指定都市に移行して 20 周年の節目にあたります。本市の人口増加数は２年連続で全国第１位、０歳から 14 歳までの転入超過数に至っては７年連続で全国第一位であり、本市が子育て世帯から選ばれる都市として発展を続けていることが見てとれます。今日まで本市の発展を支えていただいた、市民の皆様、ご関係各位に心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、市議会の４月臨時会におきまして本庁舎移転に係る議案が可決され、本市誕生以来の重要課題に大きな一歩が刻まれました。同じ４月に、国からは、他地域とともに全国初の脱炭素先行地域に選定され、11 月には「さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNA グローバルサミット～」を開催しました。海外先進都市とも絆を深めながら、脱炭素ドミノを広げていく先陣としての役割が本市には期待されています。

新型コロナウイルス感染症へは、ワクチン接種体制の確保や、市内の経済活動の回復に向けた支援に全力を尽くしてまいりました。秋には、３年ぶりに区民まつりやさいたまクリテリウムが開催されるなど、細心の注意を払いながらも、対面での交流が少しずつ再開される一年となりました。

１月 21 日・22 日に開催の「さいたまランフェス 2022-23」では、３年ぶりにマラソンランナーが市内を力強く駆け抜け、10 月には「さいたま国際芸術祭 2023Art-Saitama2023」を、市民の皆様と共に創りあげてまいります。

増加基調が続く本市の人口も、あと 10 年足らずでピークを迎え、大きな転換点の到来が予想されています。世界に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻は、国際秩序を大きく揺るがし、社会経済状況の先行きは不透明感を増すばかりです。

こうした中、政令指定都市として大きな節目の年を迎えた本市は、「交通の要衝」「災害への強靭性」「教育」「環境」「健康・スポーツ」といった強みにさらに磨きをかけ、新たな時代にふさわしい SDG s 未来都市として、成長発展・シンカを遂げていかなければなりません。そのためには、時代の最先端の知見やテクノロジーを積極的に　まちづくりや行政サービスに生かしていくことはもとより、市民の皆様や市内外の企業、大学をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様方と力を合わせ、共に考え共に創る、公民学共創によるまちづくりが不可欠です。

誰もが「住みやすい」「住み続けたい」と思える持続可能なまちづくりに向けて、どうか本年も、皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。結びに、新年が皆様にとって幸多い一年となることを心から祈念し、私のあいさつとします。本年もよろしくお願いいたします。

パストガバナーご挨拶

パストガバナー
森田　武司　様

乾杯

パストガバナー補佐
山形　照之　様

グループ合同事業報告・IM 実行委員紹介

IM 実行委員の方々

ご紹介
グループ幹事
十文字　裕司　様

グループ合同奉仕事業映像放映

直前ガバナー補佐・グループ幹事への花束贈呈

ご挨拶

直前ガバナー補佐　**三枝　和男　様**

次年度ガバナー補佐紹介及びご挨拶

次年度ガバナー補佐
山崎　和雄　様

次年度会長・幹事ご紹介

大締め

パストガバナー補佐
藤池　誠治　様